

国会闘争速報

2006年10月28日 第10号

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkai tousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。

「教基法改悪も共謀罪も廃案に！」 ハンスト団と北教組先頭に 早朝から座り込み

9日目の27日は5名のハンスト団でたまたかわれた。東京の被処分者と東京教組の2名、千葉から佐倉市議の工藤さんほか計3名。昨日から残った北海道教組250名も、早朝から国会前で座り込みを開始。共謀罪反対の共同行動も横断幕を広げて陣取り、加えて建交労働も座り込み

9日目の27日は5名のハンスト団に入った。朝早くから500名をはるかに越える座り込み部隊が国会前を制圧した。9時過ぎから北教組の集会在行われた。各支部から「支部総勢560名のうち190名が本日の行動に立ち上がっている」「人も予算も使い果たすまでが「人も予算も使い果たすまでが「人も予算も使い果たすまでが「人も予算も使い果たすまでが」



み部隊もある。都高教、三浦半島教組をはじめ神奈川、長野、愛知、三重、大分、鹿児島など。総勢80名を越え、本部分針の倍以上だ。ハンストの激励・支援に訪れる人も増え、ハンスト団の周りも賑やかだ。

13時30分からは共謀罪反対共同行動の集会。実は現局面こそ共謀罪強行採決の危機にあること、共謀罪と改悪教基法は一体で労働運動を解体する大反動であり、大衆行動を今こそ強めねばならないことが訴えられた。

報告が全体を鼓舞した。北教組は11時に議員要請行動へ切り替えた。12時から反戦共同行動委員会が集会。全学連の織田委員長がマイクを握り「核実験を口実にして戦争をやるうとしてい

拒否して立ち上がったら止められる。動労千葉のように闘おう」と訴えた。全国から駆けつけた労働組合、住民・学生団体からの発言が続き、11・5労働者集会への総結集が呼びかけられた。正午をすぎると日教組の組合員が集まってきた。自主的あるいは単組決定での独自の座り込

15時前からハンスト者が次々発言。被処分者のIさんは「本当の決意をしなければならぬ時がきた。都教委と石原が東京の教育をぶつ壊した。改悪法が戦争の前哨戦だ」と決意を語った。16時から座り込んだ東京教組も集会を行い、18時に全体の行動が終了した。

防衛省＝日本版「国防省」設置法案が審議入り (27日)

27日の国会では、対テロ特措法の1年延長「省」の設置であり、軍部が再び昔のように政が成立しました。さらにこの日、防衛省法案「省」は日本の核保有について27日都内で講演し、が衆院で審議入りしました。防衛庁を「議論は封殺できない」と発言しました。こに格上げするとともに、海外派兵を自衛隊の主任務に位置づけるものです。これは「国防の安倍政権を国会闘争の爆発で倒そう！」

国境をこえ、党派や上部団体のちがいをこえて

11・5全労働者の団結で戦争国会をつぶそう

国会前のみなさんへ
熱い連帯を込めて

非常事態宣言下の日教組緊急中央集会に、最高責任者の森越委員長が何と「海外出張」で欠席！ 戦後最大の攻撃の前で、陣頭指揮を取って闘いの最先頭に立つどころか、信じられない裏切り行為を行った本部に対して、私たち広島教育労働者は壇上に駆け上がり、命がけの弾劾行動に決起しました。

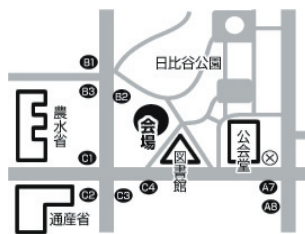


森越委員長！ 30万組合員を見捨て、海外の会議に出かけている場合なのか！ 職場の矛盾をいつたん後に回してでも駆けつけ、組合員の思いを何だと思つての行動か！

委員長
はハンストを国会前でしている仲間たちの先頭で座り込んだことが一度でもあるのか！ 勤評闘争の時に高知県の組合員が「勤評反対のストライキに入るのか否か」と地域反動に一人一人つるし上げられ、石をなげつけられた。そのとき当時の小林委員長は現場に駆けつけ、頭を血だらけにして組合員を守り、頭に包帯をまいて全国オルグに回った。この精神は森越委員長にはないのか！ 主任制反対一日ストライキを闘おうと全国に檄を発し、先頭で闘った横枝委員長の魂はどこへ行ったのか！ 広島私たちは怒っています！ 何としても裏切りをのりこえ、1万人のこの力をさらに教基法改悪粉砕へ！ 連休前の強行採決を許すな！ 全国ゼネストを！ その勢いで11・5集会へ！ そして11・6国会前座り込みで廃案へ！ 安倍内閣を打倒して、子どもたちを守ろう！ 教え子を再び戦場に送るまい！ 教育労働者の団結万歳！
2006年10月27日
広教組高須小分会 金平久美子

11・5全国労働者総決起集会

日比谷野外音楽堂・正午開会



★都営三田線・内幸町駅/A7~8出口
★地下鉄・有楽町線/B1~3, C1~4出口

海外からのアピール

韓国から 民主労総ソウル本部

アメリカから

ILWU (国際港湾倉庫労組)

AMFA (ノースウエスト航空整備士労組)

●「日の丸・君が代」不起立被処分者の発言

呼びかけ 全日建運輸連帯労組関西地区生コン支部

全国金属機械港合同

国鉄千葉動力車労働組合

改憲・戦争と民営化の労働破壊に立ち向かう労働者の国際的団結を



教育基本法の改悪をとめよう！ 11・12 全国集会

11月12日(日) 日比谷野音

13時開場 13時半開会 15時半デモ出発

呼びかけ人 大内裕和(松山大学) 小森陽一(東京大学)
高橋哲哉(東京大学) 三宅晶子(千葉大学)

主催 教育基本法の改悪をとめよう！全国連絡会

社会の主人公としての誇りを取り戻すための集会

戦争と格差拡大、社会保障の剥奪など諸権利の解体が、労働者を激しく襲っています。とりわけ青年労働者は、その多くが非正規雇用と極端な低賃金を強いられ、夢も希望も奪われていつています。その上に今や、黙っていたら戦争にかり出される時代が始まった

のです。11・5労働者集会は、闘いを放棄した既成の労働運動指導部のもとで忍従を強いられてきた労働者が、自ら立ち上がり、奪われてきた団結を回復して、社会の主人公としての誇りを取り戻すための集会です。そして労働組合の闘う力をよみがえらせ、戦争と改憲の安倍政権を打倒し、この社会を根底から変革する第一歩を踏み出すための集会です。ぜひとも結集しよう！